

国際ロータリー第2660地区  
ガバナー

## 大谷 透



2年間かけて準備をしてきた地区大会が終わってほっとしています。丹羽健二大会実行委員長、木村雅彦大会幹事、四宮孝郎地区代表幹事をはじめそれぞれの部門を担当して頂いた会員の方々の責任感とロータリーを思う熱き思いに頭が下がりました。

事務局の方々も実によく働いてくれました。この方々の労力が報われるのは予定された参加者がすべて出席して大会を楽しみ、満足して会場を後にされることです。それ故にこの度ほど地区大会に参加して下さった一人ひとりの顔を見て、参加して頂いて有難うと言いたくなるような感情を持ったことはありませんでした。これは地区大会を主催してみて初めて知る体験でした。考えてみると今までの地区大会やIMへの自分の出席姿勢は、主催者の気持を思いやる余裕のない感性の乏しい関わり方であったと反省しています。

本地区大会にRI会長代理としてビチャイ・ラタクル元RI会長をお迎えできた事は幸運だったと感謝しています。スピーチは感銘深いものでした。大会に出席していても、いろいろな役回りのために、彼のロータリーを思う情熱と力強いメッセージに本会議場で直接触れる事の出来なかった方々には申し訳のないことでした。幸か不幸か講演は英語でなされたため、フル原稿の邦訳が地区大会プログラムの冊子に掲載されています。是非もう一度熟読して彼のロータリーに対する熱き思いに触れ、ロータリーを身に付けて頂ければ幸いです。

以下ビチャイ会長の講演からの言葉です。

- ・ 私たちの亡き後、次の世代のものがより効果的な奉仕を追及し続けるためにはどうすべきかの質問に答えるのが我々の使命。
- ・ 会員減少に関して：単なる会員増強の掛け声は私にとって薄っぺらなものに思えます。今は奉仕を必要とする人々に尽くす本当のロータリアンを増やし、イメージを高めるため入会資格に焦点を当てる時期です。
- ・ ロータリーに欠かせない基本理念は「職業奉仕に対する義務」です。ロータリアンが職業上の役割を社会的な行動に移さない限り、私達が生きる社会の改善は不可能。
- ・ ロータリーの永遠の原則は倫理的な実践を推進する事だと信じています。社会ではロータリアンが必要だと信じています。模範としてだけではなく、何が真実で何が公平かを精力的に問いかけるからです。
- ・ 貧困と病苦にあえぐダーム少年に、ロータリーの「きれいな水」の奉仕活動によって生きる希望が与えられた感動の物語。
- ・ ポリオ撲滅の目標を達成する時期に来ています。25年以上前に予防接種の必要を感じた人は、どのようにロータリー全体を動かすべく説得したのでしょうか？
- ・ 100年以上にわたり奉仕を通して夢を達成してきました。この成果は同じ信念の共有を証明しています。「ロータリーの未来はあなたの手の中に」という信念を。